



PCAN-Basic

Windows® / Linux用 CAN / CAN FD ソフトウェアAPI

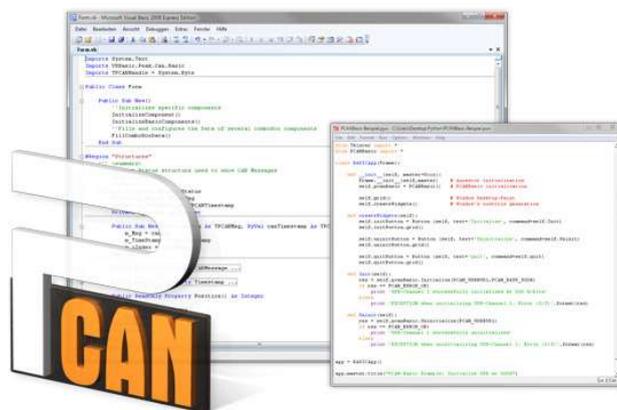
PCAN-Basicは、PCAN-Developerの廉価版のAPI（Application Programming Interface）で、PCANハードウェアに無償添付されます。PEAK SystemのPCANハードウェアと通信するためのCAN アプリケーションの開発を可能にします。このAPIは、デバイスドライバやDLLを含みます。

PCAN-BasicはC++、C#、C++/CLR、Delphi、VB.NET、Java、Python 3.x などの多くの開発言語に対応します。

主な特長

- Windows® 11（×64/ARM64）、10（×86/×64）およびLinuxをサポート。
- サポートされているすべてのハードウェアタイプに対する単一のDLL
- 各ハードウェアタイプで最大16チャンネルの使用（使用するPEAK CANインターフェイスに依存）
- 1 CANチャンネルで、ドライババッファは最大32,768 CANメッセージまで対応
- メッセージ受信時の通知（Windows® Event経由）

注意：パラレルポートCANインターフェイスは、x86システムでのみサポートされています。



機能

Connection

- Initialize: ハードウェアのイニシャライズ、ボーレートの設定、ドライバ ログオン
- Uninitialize: ドライバ ログアウト

Configuration

- SetValue: ハードウェアパラメータのセットアップ（デバッグログ、オートリセットなど）
- FilterMessages: レジスタメッセージ受信

Information

- GetValue: DLLとAPI情報の読み出し
- GetStatus: CANバス情報の読み出し
- GetErrorText: エラーコードの取得

CAN communication

- Read: CANメッセージやステータスの読み込み（タイムスタンプ付き）
- Write: CANメッセージの送信（11/29ビット ID、RTR）
- Reset: 送信、受信バッファのクリア

システム要件

- Windows® 11（×64/ARM64）
Windows® 10（×64）又はLinux
- CANバス接続にはPEAK-System社のPC CANインターフェイスが必要

推奨ホストPC

- Windows® 11（×64/ARM64）
Windows® 10（×64）又はLinux
- プロセッサ 1.5GHz 以上
- メモリ 2GB 以上

納品内容

- インターフェイス DLL、ヘッダーファイル

この文書に記載されている内容は予告なく変更されることがあります。

2025年07月